

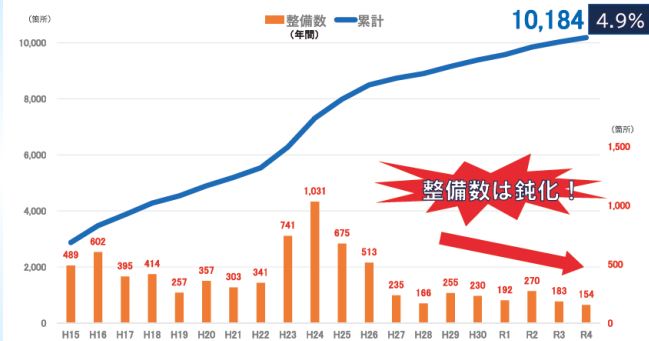


～国会質疑の裏側ご紹介～

起点は、労働組合の「交通安全活動」

はまぐち議員が参議院予算委員会での政府要請につなげました！

歩車分離式信号の整備数の推移



出典：警察庁資料「歩車分離式信号の設置数の推移について」を基に試算事務所にて作成
令和6年3月25日(月)参議院予算委員会 国民民主党・新緑会 浜口 誠 (ハムネ)

歩車分離式信号の設置数増加を訴求！

海外(G7)と比較しても日本の交通事故死者数が多い。理由の1つは「歩車分離式信号」の整備率(4.9%)の低さ。設置指針の見直しを警察庁に求める！



はまぐち 誠
参議院議員

【国家公安委員長答弁】 答弁は、動画をご視聴ください



SUBARU労組

2022年12月～
交通安全活動として
「生命のメッセージ展」
を組合4拠点で開催

安心・安全な交通社会を築いていくことは産業の責務！
SUBARU労組が、黒崎さんの活動とはまぐち議員をつなぐ！

活動を通じ、涼太のかあさん(黒崎陽子さん)と知り合う

2015年、事故でお子様を亡くされ、茫然自失の中警察で渡された資料をたよりに「被害者支援」に助けられる。鬱・PTSD発症も引裂かれた子の慰霊をし続ける中、世界道路交通被害者の日を知り遺族会にも出会う



行政や地域を尋ね歩き、未成年の目線で交通安全を訴求。

歩車分離式信号の普及活動をしている傍らでNPO法人いのちのミュージアム(同展覧会主催)でスタッフを経験。

「生命のメッセージ展」とは

犯罪・事故・いじめ・医療過誤・一気飲ませなどによって、理不尽に生命を奪われた犠牲者が主役のアート展です。犠牲者ひとりひとりの等身大の人型パネルは「メッセージャー」と呼ばれ、その胸元には本人の写真や家族の言葉を貼り、足元には「生きた証」である靴を置いて、いのちの大切さを訴えています。生きたくても生きられなかった「メッセージャー」からの「いのちを守り、未来につなげる願い」を感じてください。



NASVA (ナスバ) を知っていますか？

NPO法人いのちのミュージアムや自動車総連も運営に関わっています！

被害者支援業務
自動車事故被害者を
支える
●療養施設設置・運営
●介護料支給
●育成資金貸付

安全指導業務
自動車事故を
防ぐ
●指導講習
●適性診断
●安全マネジメント

安全情報提供業務
自動車事故から
守る
●自動車
アセスメント

みんなも支払っている自賠責保険料の一部も使って…、万一、交通事故にあったときに被害者や家族を救済したり、事故の未然防止に関わる事業をしている組織なんです。(独立行政法人自動車事故対策機構)

もしものときに備え、ナスバを知ってください！



議員は、こうやって組合の声を国に届けてくれるんだね！

本質疑内容につきましては、インターネット審議中継にて録画をご覧になれます。

3月25日参議院 予算委員会 <http://www.webtv.sangiin.go.jp/webtv/index.php>

